

サンガイクサ
ホトケノザ (三階草)
シソ科オドリコソウ属
別名: サンガイクサ (三階草)、
ホトケノツツシ (仏の綴れ)

3月頃から花をつける越年草。その名の由来は葉の形が仏様の台座(蓮座)のように見えるため。しかし道端に生えている三階草には強い毒性はないものの、食用には向きません。春の七草に含まれる「ホトケノザ」とは「コオニタビラコ(キク科・多年草)」という別の植物のことを指します。初春に花が咲く前の若い青々とした葉を食用。こちらが春の七草の一種「ホトケノザ」です。



No. 2

主な内容

令和5年
9月・12月議会
要旨報告

発行責任者/渡部 英治
編集責任者/佐藤 正一郎

県民の幸せと県勢発展のため 本年も全力で頑張ります!



県議会 福祉環境委員長
議会運営委員

佐藤 正一郎



2024年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナ禍からようやく脱出し、社会・経済活動が復活してきました。湯沢雄勝地域では企業の設備投資の動きが活発になり、交流人口も回復しつつあります。しかし、異常気象による災害や農林業への被害、クマの出没など、地域の課題は尽きません。産業振興と安全で安心な社会の構築、地域のインフラ整備のため、皆様の声が県政に反映されるよう努めます。

引き続き、皆様からご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

佐藤正一郎 県議会報告会

2024

新春の集いのご案内

とき 令和6年 1月28日(日) 午後2時～4時30分

ところ 巨福会館 ホール 〈JAこまち羽後支店・2階 羽後町西馬音内字中野19-35〉

会費 2,000円 (当日、受付でいただきます)

参加申込み どなたでも参加できますが準備の都合上、事務局 ☎ 0183-67-2559 または 090-7060-4600 へご連絡ください。

※感染症予防対策にご協力ください。



9月議会

令和5年・第3回定例会
9月11日～10月5日

今回の補正予算は、7月の大雨による被害対策に要する経費のほか、物価高騰対策、新型コロナウイルス感染症対策、新秋田元気創造プランに基づく事業等について計上した。

9月補正予算の主な内容

新医療・福祉施設災害復旧事業 … 5億1,119万円

被害を受けた医療・福祉事業者の再建を支援するため、施設等の復旧に要する経費を助成する。

新農業経営等復旧・継続支援対策事業

…………… 1億6,081万円

被害を受けた農業経営等の再建を支援するため、農地や生産施設等の復旧及び被災農業者等の再生産に向けた取組に対し助成する。

新林業・木材産業経営復旧・継続支援対策事業

…………… 625万円

被害を受けた林業・木材産業経営の再建を支援するため、機械・設備の復旧及び被災農業者等の再生産に向けた取組に対し助成する。

新被災事業者再建支援事業 …… 3億2,615万円

被害を受けた事業者の事業継続を支援するため、設備等の復旧に要する経費を助成する。

農地・農業用施設小災害支援事業 2億6,000万円

国の災害復旧事業の対象とならない小規模な災害復旧を行う農家等の負担軽減を図るため、農家等への助成を行う市町村等を支援する。

令和5年度 一般会計 補正予算

196億5,682万円

補正後の規模 6,206億 8,345万円

●災害復旧対策事業 …… 161億9,102万円

被害を受けた土木施設、農業用施設の復旧などを行う。

●ものづくり革新総合支援事業

(省エネ生産設備更新型) …… 1億463万円

電力等の価格高騰の影響を受けている中小企業(製造業)の中長期的な生産性向上等を促進するため、省エネ化に要する経費の一部を助成する。

●新興感染症対策事業

(新型コロナウイルス感染症分) … 1億8,396万円

新型コロナウイルス感染症に関する総合案内窓口・医療相談窓口の設置等を継続する。

●新県立体育館整備事業 …… 5,491万円

新体育館のPFI事業者選定に向け、専門知識を有するアドバイザーの支援を得て実施方針の策定等を行うとともに、建設地の測量等を実施する。

【PFI事業】 Private Finance Initiative プライベート・ファイナンス・イニシアチブ
公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。(内閣府ホームページより)

9月議会 一般質問

佐藤 正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 災害に強い県土づくりについて
- ◆ 今後の新型コロナウイルス感染症対策について
- ◆ 賃金水準の向上と物価高について
- ◆ 新しい県立体育館の整備について
- ◆ 畜産の振興と環境問題について
- ◆ 「あきたこまちR」の作付けについて
- ◆ 松くい虫対策について



山形 健二 [横手市]

- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 若者の県内定着について
- ◆ 移住・定住の推進について



9月議会 総括審査

- ◆ 新県立体育館整備について
- ◆ 新スタジアム整備について
- ◆ 豪雨災害対策について



副委員長
三浦 茂人 [秋田市]

決算特別委員会

令和5年 10月16日～11月2日

一般会計および特別会計の決算について審査

総括審査

- ◆ 賃金水準の向上等について
- ◆ 財政の健全化と財政2基金について
- ◆ 秋田県の郷土食について

常任委員会 (産業観光委員会)

令和5年 9月・12月議会



三浦 英一 [由利本荘市]

12月議会

令和5年・第3回定例会
11月28日～12月22日

今回の補正予算は、新秋田元気創造プランに基づく事業、物価高騰対策等に要する経費のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為について計上した。

12月補正予算の主な内容

新 秋田とつながる若年女性のネットワーク構築事業 …… 112万円

若年女性の県内定着・回帰に向け、県外の若年女性との意見交換により、秋田に対するニーズ等を収集するとともに、秋田と首都圏のネットワークを形成する。

新 児童会館安全安心確保事業 …… 141万円

秋田県児童会館における新型コロナウイルス感染症対策や、利用者の暑さ・寒さ対策のために必要となる備品等を整備する。

〈ツキノワグマ被害防止総合対策事業〉… 2,470万円

● ①人里への出没対策強化事業

地域の安全安心を確保するため、麻酔銃を追加購入し北秋田及び仙北地域振興局に1丁ずつ配置する。

新 ②ツキノワグマ捕獲緊急対策事業

ツキノワグマ被害の拡大に伴い、有害捕獲等による負担が大きくなっている秋田県猟友会を支援する。

● 灯油購入費緊急助成事業 …… 5億 5,440万円

低所得世帯の負担軽減を図るため、市町村民税非課税世帯を対象に灯油購入費助成事業を行う市町村を支援する。

令和5年度 一般会計 補正予算

46億 7,887万円

補正後の規模 6,253億 6,233万円

● 家電の省エネ促進生活支援事業 … 4億 857万円
節電効果の高い省エネ家電製品の購入経費に対し商品券等を交付する。

● LPガス価格高騰対策緊急支援事業 …… 3億 8,369万円
LPガスの価格高騰の影響を受けている一般消費者等の負担軽減を図るため、料金の一部を助成する。

新 地域商業・サービス業等振興事業 …… 5億 1,087万円

電力等の価格高騰の影響を受けている県内中小企業者の負担軽減を図るとともに、県民生活への支援につなげるため、中小企業団体が実施する消費喚起等の活動に対し助成する。

新 物価高騰に伴う乾燥調製施設等支援事業 …… 2億 2,464万円

電力や燃料の価格高騰の影響を受けている乾燥調製施設を運営する組織等を支援するため、電力及び燃料の高騰分に対し助成する。

12月議会 一般質問

渡部 英治 [大仙市・仙北郡]

- ◆ 知事の問題発言と秋田の魅力発信について
- ◆ 大曲の花火産業の振興について
- ◆ 賃金水準の向上について
- ◆ 若年女性の県内定着・回帰について
- ◆ クマ対策について
- ◆ 特殊詐欺被害の防止について



12月議会 総括審査



山形 健二 [横手市] 三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 少子化対策について
- ◆ 新スタジアム整備について

会派県外視察

〈三重県・愛知県／令和5年11月12～14日〉

巨大商業施設リゾート VISON 事業 [三重県多気町／11月12日]



〈2021(令和4)年オープン〉



〈デジタル田園都市国家構想／2022年7月採択〉

総事業費約200億円。温浴施設・ホテル・飲食店・マルシェ(市場)などを集積。敷地内ではモビリティ(移動)の自動運転実証実験を行う。コロナ禍の開店となったが年間300万人を超える来場客数(当初目標は600万人)。

豊かな観光資源を活かす 観光振興政策について

[三重県 志摩市役所／11月13日]



豊かな観光資源に恵まれ、市全域が伊勢志摩国立公園に含まれている。2016(平成28)年「スポーツ観光都市」宣言。同年5月「伊勢志摩サミット」開催地。観光業の入込客数は約360万人[2022(令和4)年]。

北東北三県名古屋合同事務所

[名古屋市中区／11月14日]

中部地区との経済、文化、観光などにおける取組みについて



佐藤正一郎の 県議会レポート



4月改選後の県議会では一般質問や予算特別委員会の総括審査、福祉環境委員会等で、医療圏の見直し、豪雨対策と災害復旧、「あきたこまちR」への切替え、新県立体育館の整備、畜産の環境問題などについて議論を行いました。

福祉環境委員長報告（6月議会・抜粋）

二次医療圏の設定について

現行の8医療圏から3医療圏にすることについて、身近な医療機関が減ってしまうのではないかと心配の声を聞くがどうなのかと質したのに対し、「二次医療圏の広域化は病院の統廃合や病床の削減を要請するものではない。医療機関の役割分担と連携を図ることによって身近な病院の機能充実と急性期医療等に対応する病院の拠点化を進め、質の高い医療提供体制を確保するのが目的だ」との答弁があった。

◆一般質問（令和5年9月議会・抜粋）

河川管理と改修事業

問 7月の記録的な大雨では秋田市や五城目町で県が管理する河川で氾濫が起きた。これらの河川では土砂の堆積や雑木の繁茂などで水の流れを阻害していなかったか。復旧事業に当たっては原型復旧にとどまらず、抜本的な対策を緊急に行う河川改修事業を計画するなど、先を見据えた取り組みが必要だ。

知事 河川管理に当たっては日頃の維持管理が重要であり、治水上支障が生ずる箇所を河道掘削や伐木などに取り組んでおり、優先順位を付けながら計画的に対応する。秋田市の市街地に広範な浸水被害をもたらした大平川などは国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の予算を活用するなど、抜本的な対策を強力に推進する。

畜産振興と環境問題

問 畜産臭について「公害ではないか」という苦情が寄せられており、地域と共存共栄できる抜本的な対策が必要だ。畜産振興と地域の生活環境改善が図られるよう、全国の先進事例や対策を調査して技術指導を行い、畜舎等の構造改善などの方策を検討いただきたい。

知事 農場の規模拡大や周辺の宅地化などを背景に、悪臭等への苦情があり、畜産経営者との定期的な意見交換の機会を設け、解決の糸口を模索しているところだ。県は巡回調査し、運搬作業の見直しや堆肥舎へのカーテン設置、消臭剤の散布などを指導するほか、最新技術であるバイオフィルターを使用した脱臭装置などの導入を支援する。



佐藤 正一郎氏
（みらい・湯沢市雄勝郡）

◆大雨で秋田中央道路が冠水したが、大量の水の浸入を防ぐ手段はなかったのか。

知事 建設時点では、内水氾濫で短時間に大量の水が流入することへの対応は想定していなかった。水の浸入防止対策や排水ポンプの耐水化など、機能強化に向けた検討を進めている。

新体育館、丘維持しては

◆新県立体育館の建設地について、八橋運動公園内の丘や緑地を壊さず、現在の体育館と隣接する駐車場の場所に建設するのはどうか。

知事 駐車場は津波浸水想定区域。体育館の解体期間を考慮すると2028年秋の開館が1年以上遅れ、秋田フーズンハピネスの新しいグランドが頓挫することになる。さまざまな条件や意見を総合的に勘案して丘周辺を建設場所としており、公園の機能や魅力が高まるように秋田市と相談しながら整備を進める。

令和5年9月16日付／秋田魁新報「県議会一般質問」より

■ 県議会活動はWebからもご覧になれます

秋田県公式サイト **美の国あきたネット**
<https://www.pref.akita.lg.jp/>

→ 「秋田県議会」

「元気な秋田」を創造しよう!!

さとう正一郎ホームページ

<https://www.sho-ichiro.net/>